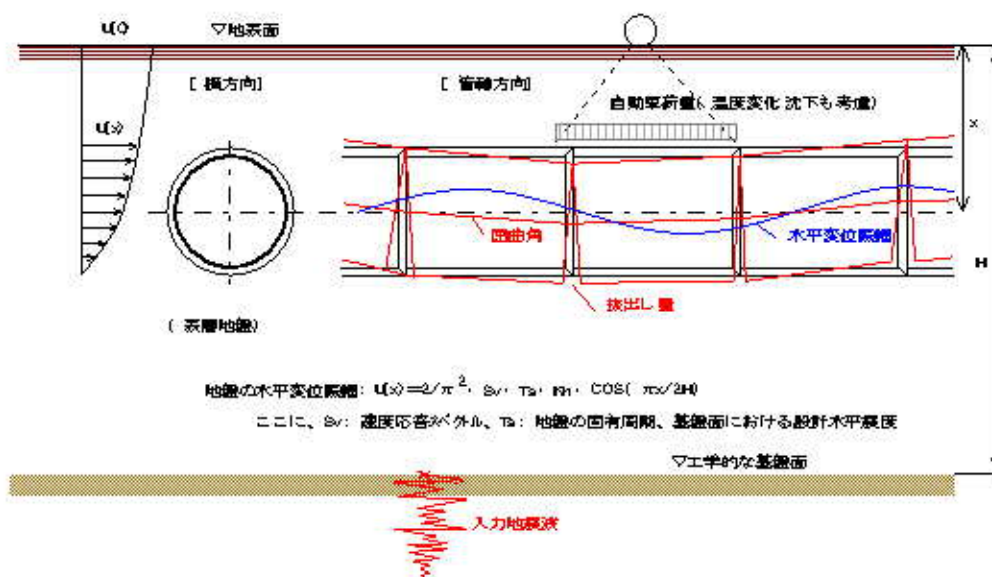


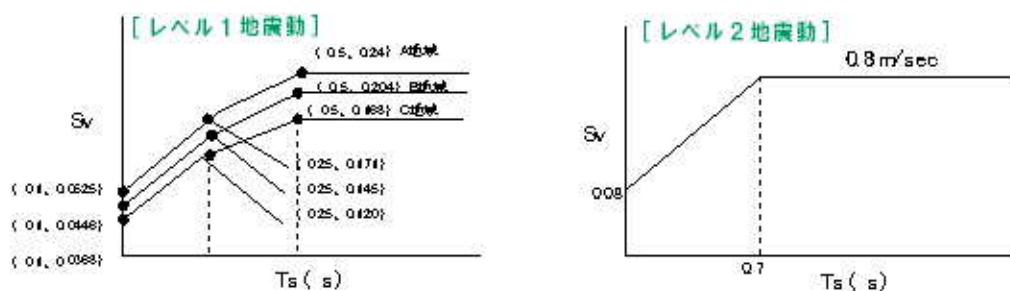
圧送管の耐震設計

耐震設計シリーズ(継ぎ手、マンホール、管本体、RCボックス、PCボックス、圧送管)は、8本セットでご使用できます!



【機能の概要】

- 下水道管路の耐震設計は原則として「応答変位法」を用い、レベル1地震動・レベル2地震動の設計応答速度は以下を使用します。(下水道施設の耐震対策指針と解説、図-解6.2.2、図2.3.3)



- 解析数は、最大2ケース(レベル1地震動、レベル2地震動)に対応しています。
- 液状化の計算～管体応力計算～継手照査(抽出量・伸縮量)、屈曲角)の一連計算に対応しています。
※地盤入力データは、下水道の耐震設計シリーズ間(8本)で共有できます。
- 管渠マスタファイルに登録された管材性能値を読み込むことができます(管材性能値の登録・編集が可能)。
- 適用基準は、「下水道施設の耐震対策指針と解説」2006年版(社団法人日本下水道協会)に準拠。
- 「連番設定」機能に対応。(連番設定とは、出力書類の章・節・項の番号振りを編集する機能です)

*記載価格には消費税が含まれておりません。

株ネオセルコ システム開発部
 広島市東区福田一丁目304-3
 TEL: 082-899-8891 FAX082-899-5901